



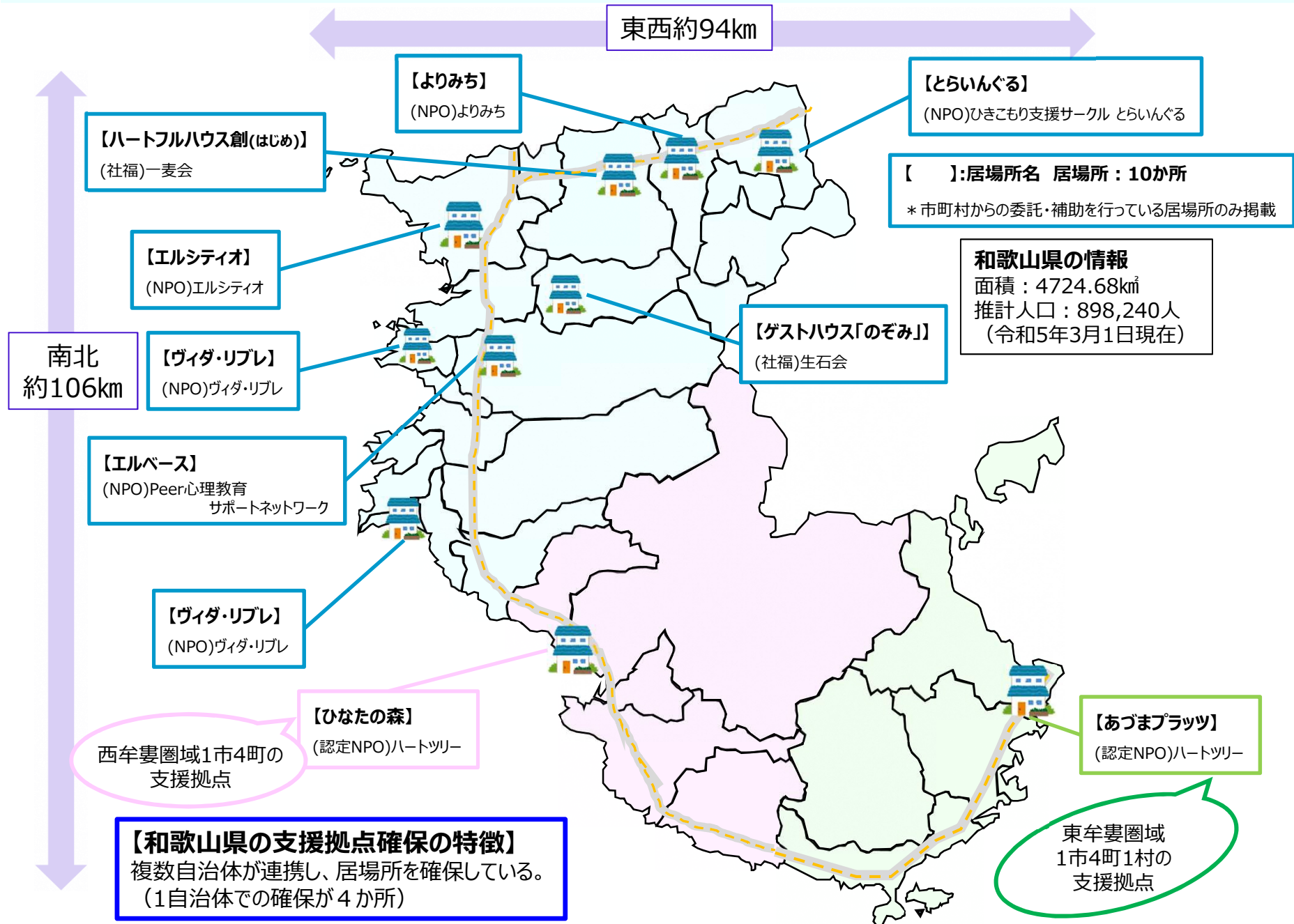
和歌山県の ひきこもり支援推進施策

令和5年5月現在
和歌山県障害福祉課
こころの健康推進班



和歌山県
Wakayama Prefecture

和歌山県内のひきこもり支援に係る居場所の設置状況



和歌山県内のひきこもり支援推進施策の経緯について（ポイントのみ）

国の動き

平成21年度 「ひきこもり地域支援センター設置運営事業」補助開始

平成25年度 「ひきこもりサポーター養成研修、派遣事業」開始

平成30年度 「ひきこもりサポーター事業」補助開始

令和4年度 「ひきこもりステーション事業」補助開始

和歌山県の動き

平成16年度 「ひきこもり者社会参加支援センター」指定・補助開始
(NPO2法人からスタート+H21 1法人)

平成21年(2009年)8月7日 「県ひきこもり地域支援センター」(県精神保健福祉センター内)

平成23年(2009年) ひきこもり専用相談電話「いっぽライン」開設・各県立保健所に相談窓口設置

相談窓口設置

全市町村窓口設置

平成30年度 「ひきこもりサポーター事業」3市町

平成31年度 「ひきこもりサポーター事業」18市町村

令和2年度 「ひきこもりサポーター事業」25市町村

令和3年度 「ひきこもりサポーター事業」26市町村

令和4年度・令和5年度 「ひきこもりステーション事業」26市町村

「ひきこもりサポート事業」26市町村

「ひきこもりサポート事業」1町

より身近な市町村事業への展開

引きこもり自立

「引きこもりの人の家族や各NPO団体から支援要請を受け、県は新規事業を決定。スタッフの人員費や作業場の運営補助費を出す。

県は「職員よりも経験のあるスタッフの方が当事者の気持ちを理解でき、きめ細かく対応ができる」と期待。厚生労働省精神保健福祉課社「県トピアOが、トピアを取り組むの熱意を歓迎した」として。

和歌山県とNPO

支援で連携

県によると、保健所や精神保健福祉センター計九か所に、引きこもり専門の相談窓口を新設し、担当職員が常駐。支援センターの二つのNPO団体から、かつて引きこもりの経験し克服したスタッフらを派遣してもらって、一緒に本人や家族の相談を受ける。家庭訪問もスタッフが同行する。

また、現在、NPOが持っている作業所で、引きこもりの人に食品の袋詰めなど軽作業を経験してもらい、社会復帰を支援している。

引きこもりの人の自立を支援するため、和歌山県は「ひきこもり者社会参加支援センター」に指定、各保健所にも新たな窓口を設け、四月から県職員がNPOのスタッフと一緒に相談対応したり、家庭訪問したりする予定を決めた。全国の都道府県でNPOと連携して社会的引きこもり対策に取り組むのは初めて。県は「引きこもりの社会参加促進事業」として、新年度予算案に約六百万円を盛り込む。

平成16(2003)年 4月から 相談や家庭訪問
2月3日 読売新聞より

和歌山県のひきこもり支援推進体制

ひきこもりの状態から一歩踏み出したいけど、どうしたらよいかわからない…



当事者

御家族

家族がひきこもりの状態にあって、どう助けになったらよいかかわからない…

*単純化して記載しております。

